



久保 貴洋 議員(大樹会)

地方創生における
佐野市の政策について質問方式
一問一答

Q 平成32年度に開校する田沼西地区の小中一貫校の校舎には、木材をふんだんに使用して、子どもたちのストレスを減らし、自然と調和するような木造建築にする考えはあるか。

新議場では三義の杉材などの県産材が使われており、大変穏やかなムードで議会が進められている。穏やかで温かみのある環境の学校をつくることは、こどもの街宣言を掲げている本市として必要であると考えられている。

A 産業文化部長

今後の建築予定である校舎や公共建築物について、木材利用等を通じて、木のぬくもりや地元産材を使用することで地域経済の活性化を図りたいと考えています。また、中高層建築物に対する今後のCLTの動向や学校づくりに関する事例など、関係課に情報提供を行い、積極的に木材等が利用されるよう、その理解と協力に努めていきたいと考えています。

※CLTとは・・・

欧州で開発された大規模建築物工法で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことを言います。



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

空き家対策
について質問方式
一問一答

Q 空き家は全国で820万件にも及び、大きな社会問題となっている。本市の空き家対策として、空き家対策計画の策定と総合計画への位置付けはどうなっているのか。また、空き家管理代理業務、空き家バンクを実施する考えはあるか。

A 行政経営部長

平成28年度からは、空き家対策室を新設し、総合計画への位置付けや空き家等対策計画の策定に向け、関係各課と連携を図りながら取り組んでいく考えです。

また、公益社団法人佐野市シルバー人材センターと空き家等の適正な管理の推進に関する協定を、佐野市建設業協会及び佐野市建設業協友会と老朽空き家等の取り壊しに関する協定の締結に向けた協議を進めているところです。

A 総合政策部長

Q 空き家バンクをできるだけ早い時期に創設したいと考えており、情報発信の主なツールとなるホームページを立ち上げ、空き家情報を効果的に発信できるような体制を整備していきたいと考えています。

その他の質問

☆クリケットのまちづくりについて



横田 誠 議員(新風)

男女が生き生きと
活躍できる社会の
実現について質問方式
一問一答

Q 男女共同参画を切り口として地域課題の解決を考えることは、多様な人たちの知恵を結集することにおいて、時期を捉えた大変意義のあることである。男女共同参画について各種情報を全国に伝播する※日本女性会議という大会が毎年開催されており、この会議を誘致すべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。

A 市長

日本女性会議を誘致することは、女性の社会進出への機運を一層高め、男女共同参画社会の実現に向けて更なる前進の機会となります。課題もありますが、市民女性団体、企業、諸団体等のご理解とご協力をいただきながら、誘致に向けて前向きに検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆食品ロス削減策とフードバンクへの支援について
☆チャイルドファーストなまちづくりについて

※日本女性会議とは・・・男女共同参画社会の実現に向けて課題の解決を探るとともに、参加者相互の交流促進や情報ネットワーク化を図ることを目的に毎年開催され、全国から2,000～3,000人規模の参加者が集う国内最大級のイベントとなっています。